

令和3年6月期 半期開示項目

I 地域貢献に関する取組み

○協同組織の特性

当JAは、君津市、袖ヶ浦市、富津市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織です。当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。当JAは、地域の一員として、組合員及び地域住民の信頼と支持を得ながら、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めるとともに、事業基盤の維持・拡大に取り組み、新しい時代に対応した経営・意識・事業の改革に取り組んでいます。

組合員数 22,564人 出資金 3,855百万円

1. 地域からの資金調達の状況

- (1) 貯金積金残高 207,040百万円(うち定期積金 3,111百万円)
 (2) 貯金商品
 ・高齢者優遇定期貯金「寿500」、同定期積金「長寿300」
 ・退職者優遇定期貯金 ・知人囲会定期積金
 ・共済金定期貯金 ・農畜産物応援定期貯金「大地の輪」
 ・子育て支援金利上乘せプレミアム定期積金「夢ふうせん」

2. 地域への資金供給の状況

- (1) 貸出金残高 20,111百万円(組合員等)
 5,324百万円(地方公共団体等)
 302百万円(その他)
- (2) 制度融資取扱い状況
- ① 農業近代化資金 (資金の概要) 設備投資等に必要な資金を融資する農協等民間金融機関が融資する中期の資金で県ならびに市が利子補給する資金 844百万円(106件)
- ② 農業改良資金 (資金の概要) 新たな農業部門を開始したり、新たに加工部門に進出するなど新作物分野・加工流通分野・新技術にチャレンジする際の利用に適した中期の資金で県の資金を原資とする無利子資金 0百万円(0件)
- ③ 就農支援資金 (資金の概要) 新たに農業を開始しようとする者(認定就農者)が就農のために研修等の受講、就農に際しての準備、経営開始時の設備投資等に必要な資金を融資する国・県等の資金を原資とする無利子資金 8百万円(3件)
- ④ 家畜飼料特別支援資金 (資金の概要) 畜産農家が配合飼料の価格高騰により、経営の継続に支障をきたしている時に、飼養技術の向上等による生産性向上を図るまでの間、飼料購入に要する経費を融資する資金 0百万円(0件)
- ⑤ 農業経営負担軽減支援資金 (資金の概要) 農林公庫資金、農業近代化資金、農業改良資金等の制度資金を借り換えるための民間原資の資金で都道府県(国からの補助金を含む。)が利子補給する資金 12百万円(1件)
- (3) 融資商品
 ・住宅資金 ・生活資金 ・教育資金 ・農外事業資金
 ・賃貸住宅建設資金

3. 文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

- ・ 税務相談会開催
- ・ 法律相談会開催
- ・ 年金相談会開催
- ・ 集団健康診断及び健康相談
- ・ 中学生、高校生職場体験協力(インターンシップ)
- ・ 日本赤十字社の献血への会場提供および参加



— 不織布マスク寄贈 —

J Aきみつは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、さまざまな分野で役立ててほしいと、J A管内3市の社会福祉協議会に不織布マスク2,000枚ずつ、合計6,000枚を贈りました。

今後も3市の社会福祉協議会と協力し、暮らしやすい地域社会づくりを目指します。



— 食農教育「あぐりスクール」 —

あぐりスクールは、次代を担う子どもたちに、地元の「農業」や「食」などについて理解を深めてもらおうと農畜産物直売所を拠点に開校しているもので、J A自己改革として位置づけています。

講師を務めた経済部直売課の職員は、小糸在来の栽培方法や歴史を伝え、種のまき方などを説明しました。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

- ・ 知人囲会（会員数 350 人）
（会員資格） 定期積金(契約期間3年、契約額48万円以上)の契約者で入会を希望する方
（活動内容） グルメツアー、観劇ツアー等の親睦、ゴルフ大会
- ・ 年金友の会（会員数 14,416 人）
（会員資格） 公的年金の受給口座を当J Aに指定している方
（活動内容） 親睦旅行、グラウンドゴルフ大会

※新型コロナウイルスの影響により、活動内容は中止させていただいております。（令和3年6月末現在）

(3) 情報提供活動

- ・ 広報誌「みずき」年12回発行
- ・ ホームページURL <http://www.ja-kimitu.or.jp>
- ・ 日本農業新聞普及活動

(4) 店舗体制

本店 1 支店 16 経済センター 5 経済サブセンター 3 介護センター 1
農機センター 2 農機整備工場 2 農機出張所 1 給油所 4
直売所 3 葬祭センター 1 葬祭場 2 自動車整備工場 3
不動産センター 1

II 財務状況や事業に関する開示項目

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	令和3年6月末	令和2年12月末	増 減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	28	37	▲ 9
危険債権	187	183	4
要管理債権	12	13	▲ 1
正常債権	25,542	23,380	2,161
合 計	25,771	23,616	2,155

注) 債権額は、貸出金・信用未収利息(信用事業与信元金に係るもののみ)・信用仮払金等、信用事業与信額(要管理債権は貸出金のみ)を対象として開示しています。なお、各債権の定義は以下の通りです。

- ① 破産更生債権およびこれらに準ずる債権
破産、会社更生、民事再生等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
- ② 危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性が高い債権です。
- ③ 要管理債権
3ヶ月以上延滞債権(①および②に該当する債権を除く)および貸出条件緩和債権(①および②に該当する債権や3ヶ月以上延滞債権を除く)です。
- ④ 正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特に問題が無いものとして、①から③に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

2 単体自己資本比率(国内基準適用)

令和3年6月末(仮決算)	令和2年12月末
11.71%	11.47%

注) 6月末の自己資本比率は、仮決算結果に基づき算出しています。なお、減損損失を令和3年6月末の概算値により計上しています。

3 主要勘定の状況

(単位：百万円)

種 別	基準日		
	令和3年6月末	令数2年12月末	令和2年6月末
貯 金	207,040	203,690	205,305
貸 出 金	25,737	23,581	22,521
預 け 金	167,273	164,300	168,079
有 価 証 券	13,173	12,912	12,933

4 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

種 類	基準日			令和2年12月末		
	令和3年6月末			取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	12,601	13,173	572	12,300	12,912	612
合 計	12,601	13,173	572	12,300	12,912	612

注) 1 6月末の有価証券の時価は6月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。